

早稲田大学ビジネススクール
イブニング/集中コース

「対中ビジネス即戦力の養成」

(日本語による対中ビジネス専門コース)

| | | | |
|----------|-----------------------|------------------------------------|---------------|
| クラス責任者 | 早稲田大学ビジネススクール教授 柳 孝 一 | | |
| 毎週 水 曜日 | 開 講 日 | 1 0 / 2 | 修 了 日 1 2 / 4 |
| 回数 1 0 回 | 講義時間 | 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0 | |
| 定員 3 0 名 | 受 講 料 | 1 0 0 , 0 0 0 円 (学生 5 0 , 0 0 0 円) | |

《カリキュラム》

| | 月 | 日 | 講師名 | 講 義 内 容 |
|-----|-----|-----|-------------|---|
| 1 | 1 0 | 2 | 柳 朱 金 | イントロダクション イントロダクション 対中投資成功の条件とは何か |
| 2 | | 9 | 緒 方 | WTO 加盟後の中国における日本企業の戦略の再構築 |
| 3 | | 1 6 | 佐々木 | 対中ビジネスの成功事例 |
| 4 | | 2 3 | 楊 | 異文化間コミュニケーションとそのスキル |
| 5 | | 3 0 | 楊 | 異文化間コミュニケーションとそのスキル |
| 6 | 1 1 | 6 | 章 | 中国人社員をやる気にさせる指導法 |
| 7 | | 1 3 | 李 | 中国人との交渉術 |
| 8 | | 2 0 | 許 | 中国でのソフトウェア会社の経営実務 |
| 9 | | 2 7 | 文 | 商習慣の壁を乗り越えるために |
| 1 0 | 1 2 | 4 | 趙 朱 | 中国進出におけるトラブル事例：その予防と解決 総括 |

《目的》

WTO加盟を果たした中国は、さらなる外国資本流入と生産拠点構築により、「世界の工場」から「世界の市場」へと変貌を遂げようとしている。そのような中国にとって、今後数年間は、より平等な市場経済への転換を求められる重要な時期でもある。このような状況の中で、日本では特に中国の経済や市場動向に関するビジネス情報が求められるとともに、対中ビジネスに対応できる人材について、その不足やスキルアップの必要性が注目されている。このようなニーズに応えて、ビジネス情報を提供しつつ、同時に受講生の対中ビジネスについての対応能力やスキルのアップを目的とする。

《特徴》

当クラスの講師陣は、長年にわたり日中の政治経済分野で研究を続けてきた在日中国学者、研究者を中心とし、日中ビジネス分野の第一線で活躍するエキスパートでもある。日中両国のビジネス状況を熟知する専門家の講義により、現地ビジネス環境変化への対応力を身につけることができる。地域別、分野別の情報総合収集力が強くなる。中国マーケットについて正確な分析力が養成できる。ネットワークを広げることが可能になる。対中ビジネスの総合力を養成できる。

《対象》

日系企業で、対中ビジネスの戦略を策定したり、マネジメントを統括する立場の方。

日系企業から今後中国へ赴任する予定の方。

対中ビジネスを企画・立案する立場の方。

- 柳 孝一 早稲田大学ビジネススクール教授。専門は、ベンチャー企業経営論、流通・サービス産業論等。著書・論文「起業力をつける」「ベンチャービジネス入門」「ベンチャーマネジメントの变革」「未来ビジネスの新展開」「マネジメント・ルネサンス」他。当クラスの責任者。
- 朱 偉徳 ファーイースト・パートナーズ有限会社代表取締役。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士課程修了（MBA）。製造メーカー海外部中国室総括担当を経て、2002年から現職。専門はアジア・中国経済、日中ベンチャー企業の経営戦略とマネジメント。研究レポート「在日華人社会のベンチャー起業力調査」他。当クラスのコーディネーター。
- 金 堅敏 株式会社富士通総研経済研究所主任研究員。国際経済法博士。研究レポート「対中投資戦略・マネジメントの再検討」他。
- 緒方 卓 野村総合研究所上級研究員。中国上海華東師範大学日本語科卒業。日本証券アナリスト協会検定会員。著書「中国ビジネス成功の秘訣」「最新中国経済入門」他。中国経済、外資進出動向、中国のマーケティング論など論文多数。
- 佐々木 芳邦 野村・中国投資株式会社業務部次長。北京大学日本語学科卒業、上智大学経営学科卒業。1985年野村證券株式会社入社、中国室担当。1988年から現職。主に野村グループの投資案件ガーデンホテル（上海）北京発展ビルディングの資産管理、業務バックアップ等に携わる。
- 楊 世芬 日中人材開発代表。津田塾大学英文科卒業。文学修士（台湾大学外国語文学研究所）経営学修士MBA（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）。大阪府立高校教諭、Dun & Bradstreet 台湾支社日系企業担当を経て、2001年から現職。専門は日本と中国の異文化間コミュニケーション。当クラスのコーディネーター。
- 章 慧南 株式会社ビジネスブレイン太田昭和中國室室長・経営コンサルタント兼中国人民大学客員教授。社会学博士（一橋大学）。専門は労働問題、人事労務管理、組織開発、人材開発。論文「中国における国有企業の雇用システムの研究」他。
- 李 年古 日中ナレッジセンター代表、「中国経済週刊」編集長。専門は、社会心理学。著書「中国人との交渉術」他。研修講演多数。
- 許 炎 華通産業株式会社代表取締役。中国大連理工大学計算機工学科卒業、同大学の助手を経て1984年来日。大阪大学大学院工学研究科博士課程（前期・後期）を修了し、1992年大阪大学助手、1997年富士通研究所研究員を経て、2000年10月から現職。
- 文 彬 アイエックス・ナレッジ株式会社営業企画グループ担当課長。ネットコラムで中国の経済・ビジネス、国際関係、社会等の話題を幅広く取り上げ、時事ニュースの背景を探る。ソフトウェアプロセス改善委員会、日中コミュニケーション研究会、現代中国研究会会員。著書『クローズアップ中国ニュース』（1、2、3）。
- 趙 勁松 1993年7月内モンゴル師範大学卒業。仕奇集団青松製衣有限公司（中国・日本・香港の合併企業）の日本語通訳、中国愛徳律師事務所弁護士などを務める。1999年4月日本に留学。横浜国立大学大学院国際社会科学部経済関係法専攻コース修了。国際経済法学修士号を取得。研究論文「合併における株主保護」他。現在、福庚総合外国法事務弁護士事務所および上海市共同総合法律事務所にて中国弁護士として活躍中。得意分野は外商投資関係、会社法、知的財産権など。